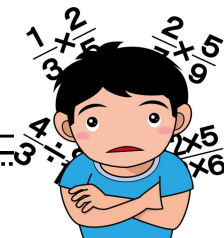




3・4・5・6年生へ算数科の学習(特に前学年までの学習内容)について、確実に身に付けられるよう支援している「八小なるほど塾」についての特集です。

★講師の方のメッセージとお手伝いに参加された方の声を掲載します。★



見つけだしステップアップする「なるほど塾」

なるほど塾講師 小山 東夫

(元ソニー学園高等学校教諭：三ツ藤在住)

小学校では、これから生きる子どもたちのために、課せられた教育活動をはじめ、生活上の安全、健康、社会性を培うさまざまな行事をこなしていますが、新型コロナウイルスのために得も言われぬご苦勞をなさっていることと思います。

第八小学校の教育目標は「考える子」行動目標は「わけをそえて話すことができる」で、ものごとを順序立てて考え、裏付けをもってしっかりと話すことができる子どもに成長することを目指しており、各学年内容と量こそ違えそれを積み重ねていくことを能力育成の基本軸に据えています。

私がお手伝いしている「なるほど塾」は、なるほどそうだったのかと納得し、腑に落ちるきっかけを一緒に考え、見つけ出すことにあります。それには算数が最適。

課題をよく読み、イメージをふくらませ、図に表わして確認。それを、式を使って書き換え、計算し、解答にたどりつく。このプロセスが考える力を養う。まちがいの中にこそヒントが隠されている。本人が説明しながらそれに気付いた時こそがポイントです。

算数は四則計算だけではない。順序を追って考え、定理を使って解き明かすことに達成感が味わえ、合理的発想が身につきます。

学習には素直が一番。多くを吸収し、実あるものを確かめ、味わえ、自分を大きくする糧になるからです。

【お手伝いされた保護者や地域の方の声】

◆「なるほど塾」の丸付けボランティアに今年初めて参加しています。

苦手な問題を先生に教わりながら頑張る子。早く次のプリントに進むべく取り組む元気な子。先生に質問するのが恥ずかしい子。色々な児童の真剣な様子に自分も活力をもらっています。意欲的に学習する姿を見る機会が持てたことは貴重な経験だと感じています。

◆3年生、4年生、5年生、6年生と教室の雰囲気の違いが面白いです。

3年生は、元気がよくやる気満々で活気があります。こちらまで元気になります。

◆子供達がプリントを始めてから45分間、集中出来ることに感動しました。もう少し丁寧に文字や数字を書いて欲しいと感じます。基礎学力が定着していない子供もいるので、時間と教員数が足りないと思います。丸をたくさんもらった瞬間に見せる輝いた顔が嬉しいです。算数は楽しいなと感じて欲しいです。

◆今回、6年生の「なるほど塾」に参加しました。このような時でないと実社会で算数に携わることがないので、私自身にとっても良い勉強の場でした。子供達の一生懸命に勉強する姿に頑張りたいと思いました。

〈裏面へ続く〉

- ◆なるほど塾では、1年前の学年の算数の復習をしているのですが、すっかり計算を忘れている場合も多いので、復習の大切さを感じます。
- 3年生では、課題が終わり卒業をした後にも続けて今の学年の課題に取り組んでいる子が何人かいます。とても素晴らしいことです。

【ふれっチャ・クラブ(マジック)担当の高校生へのインタビュー】

- ◆第八小学校「ふれっチャ・クラブ」担当：石塚陸斗先生(以下 石)が、迎さん(武蔵村山高校生、以下 迎)にお聞きしました。

石：どういう経緯でマジックを披露するようになったのか教えてください。

迎：ボランティアふれっチャの講師の先生から「一回くらいマジックを披露したらいいんじゃない」と言われてやってみました。

石：当日までどのような練習をされましたか。

迎：家族やクラスメイトの前で披露したりして練習してきました。

石：やってくださいと言われたとき、どんな気持ちでしたか。

迎：披露するにあたって、緊張しかしていませんでした。

石：当日披露している時、子供たちはどんな様子でしたか。

迎：とても反応が気持ち良くて、やってよかったなと思いました。

石：やり終えた後、子供たちの笑顔とかを見られてどんな感じでしたか。

迎：うれしかった。みんながまじめに取り組んでくれて、家で妹や兄弟にやってみると言ってくれました。

石：そういう声を聞いたら、みんなもうれしいと思います。

石：今日まで半年間ふれっチャクラブに参加してどのように感じていますか。

迎：みんなきちんと話を聞いてくれて、文句も言わずに集中して取り組んでくれました。元気があり活気があるところがいいと思います。

石：ふれっチャクラブに参加するようになった理由は何ですか。

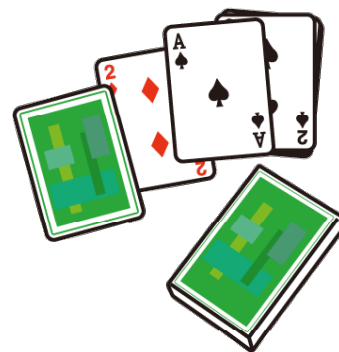
迎：姉に子供ができて、姪っ子のために何かできることがないかなと思い参加するようになりました。

石：ふれっチャの活動が今後何かに生かせそうですか。

迎：住んでいる地域の子供たちとかかわりをもつときに生かせると思います。

石：将来の夢はありますか。

迎：夢はゲームのプログラマーです。経験を生かして、子供たちに楽しんでもらえたらなと思います。



【お手伝いクラブ募集のお知らせ】

- ◆学校からの要請により三ツ藤・残堀・伊奈平地域からご都合がつく方が諸行事のお手伝いを行っています。興味のある方は登録してみませんか。都合がつけば参加で結構です。

【例年のお手伝い例】

- ①新一年生の下校見守り(各方面毎に集団下校になりますので誘導のお手伝い)
- ②自転車安全教室(安全チェックシートに沿って児童の自転車の安全点検)
- ③夏の八小塾(ドリル、プリントなどの○×付け) など

※ご興味のある方は学校へお問い合わせください。